

令和3年度 学習支援計画書

授業科目区分	科目名 [英文名]		単位	N	S	M
専門教育科目	ホテル概論 [Outline of Hotel]		2			
授業形態	担当教員名			科目コード		
講義・演習・ アクティブ・ラーニング	植松 大介		国	M-S2121		
この授業に関する資格						
ホテルビジネス実務検定						
この授業のキーワード		授業概要				
1	観光業界	世界と日本のホテル業界の現状を解説し、日本の観光業におけるホテル業の位置づけと今後の展望を考察・理解する。				
2	ホテル産業					
3	日系と外資系					
学習の到達目標						
ホテル領域に関する基礎的知識を理解することを目標とする。						
回	テーマ	授業内容				AL
1	オリエンテーション	講義の進め方、評価の仕方、その他受講上の注意				○
2	観光と旅行産業	世界と日本の観光・旅行産業の現状				○
3	日本の観光業の現状分析	観光白書を読み、業界を紐解く				○
4	ホテル史	世界と日本のホテルの歴史				○
5	シティホテル	都市部のホテルの運営形態				○
6	リゾートホテル	都市近郊のホテルの運営形態				○
7	アーバンリゾート・旅館	都市型リゾートホテル及び旅館の運営形態				○
8	日系ホテル①	日系ホテルの老舗と新興				○
9	日系ホテル②	日系ホテルグループ その特徴と運営形態				○
10	外資系ホテル①	外資系（欧米・アジア）ホテルの老舗と新興				○
11	外資系ホテル②	外資系ホテルグループ その特徴と運営形態				○
12	日外ホテル比較分析	帝国ホテルとリッツカールトン				○
13	日系グループ比較分析	西武と東急				○
14	外資グループ比較分析	ヒルトンとマリオット				○
15	日米ホテル比較分析	ディズニーホテル				○
試験等	プレゼンテーション + レポート					
教科書及び参考図書						
参考図書：国土交通省「観光白書」ホテルビジネス（ベーシックレベルテキスト：基礎編）（財）ホテル教育センター 授業中、必要に応じて適宜指示及び資料プリントを配布する						
準備学習・事後学習						
準備学習（週 1.5 時間）：業界に関する事項に対して業界誌やインターネット・書籍を通して情報の収集をしておくこと。 事後学習（週 1.5 時間）：講義内容を復習し、分からないところは調べて理解しておくこと。						
課題に対するフィードバックの方法						
フィードバックとして各講義後にディスカッションを行い、解説を行う。						
成績評価の目安と方法						
リサーチレポートとプレゼンテーション(65%)、リアクションレポートの内容(20%)、平常点（意欲・態度等）(15%)とし、総合的に評価する。						
評価	成績評価別の到達度					
S	ホテル概論の内容をきわめて高いレベルで理解している。					
A	ホテル概論の内容をかなり高いレベルで理解している。					
B	ホテル概論の内容をほぼ理解している。					
C	ホテル概論の内容を最低限理解している。					